

竹山科学技術庁長官が視察

平成10年11月19日、竹山科学技術庁長官が視察のため来所されました。

片山所長の案内により、建築・土木構造物、産業施設などの実物あるいは大型模型を用いて耐震性の研究を行う大型耐震実験施設、関東・東海地域の約100ヵ所に設置した観測点から専用回線によりデータを集め、微小地震や地殻の傾斜などを観測している関東・東海地殻活動観測網と地殻活動解析システム、地球環境変化に伴う災害を予測したり、地震に伴う災害のシミュレーションを行うスーパーコンピュータなど、研究所の主要施設を実際に見ていただ

くとともに、現在私たちの研究所が取り組んでいる研究の現況についても熱心に耳を傾けていただきました。長官は静岡県のご出身であり、東海地震に関連して、特に地震の問題には強い興味を示されました。

(問い合わせ先：管理部企画課)



関東・東海地域の高感度地震観測網について説明を受ける竹山大臣

機関評価の実施

私たちの研究所では、平成9年8月7日に内閣総理大臣が決定した「国の研究開発全般に共通する評価の実施方法の在り方についての大綱的指針」に基づき、昨年2月、重点研究課題の一つである「全球水文過程における災害予測に関する研究」について、第三者



私たちの研究所(つくば市)の全景

で構成される評価委員会による中間評価を実施し、その結果を公表しました。これに続き、今年の3月には、より効率的・効果的な組織運営等を実現するため、海外を含む外部の有識者、専門家で構成される機関評価委員会による、研究課題と運営の全般を対象とした機関評価を実施します。

今後取りまとめられる評価結果は、防災科研ニュースや当研究所のホームページを通じ、分かりやすい形で公表することとしています。

(問い合わせ先：管理部企画課)